



水井 清光 議員

農業の再生と 振興策は

問 農業再生への具体的な目標についてであります。農業者が意欲を持って農業生産を行う環境を作るためには、生産に対する経済的な裏付けを示し、営農意欲を喚起する施策が必要と考えますが本市の施策を伺う。

答 農業再生に向け、南相馬市復興総合計画で具体的な目標を掲げており、また平成27年におきましては（仮称）南相馬市農林水産業再生ビジョンを策定し、その中でより具体的な農業の将来像や目標について策定する考えであります。

問 農業を取り巻く環境は、農業の国際化や食文化の多様化などにより、米を中心とした農業経営から複合経営や6次化産業化などの新たな農業への転換が求められている。本市の基幹産業である農業の復興に向け、平成27

年実施する南相馬市農林水産業再生ビジョンの策定において、中長期的な視点に立つて各分野における再生ビジョンを検討してまいりたいと考えている。

問 南相馬市としてどのような農業を提案していくのか伺う。

答 農業を取り巻く環境は、農業の国際化や食文化の多様化などにより、米を中心とした農業経営から複合経営や6次化産業化などの新たな農業への転換が求められている。本市の基幹産業である農業の復興に向け、平成27

問 農業振興における中長期的な計画について、農業は大変間口が広い。花卉、野菜、畜産等を組み合わせた複合経営、また植物工場など多岐にわたる。今



農地除染（原町区）

質問を終えて

農業再生への具的施策が、見えてこない。

- その他の質問
- 1 教育行政の責任体制を明確化すること
 - 2 地域福祉計画は
 - 3 道徳の教科化は

教育環境の在り方は



山田 雅彦 議員

南相馬市の 復興の姿は

問 将来南相馬市で教育を受けたことが良かったと思えるよう、幼児教育の在り方、小学校の在り方など教育環境について、どう考えているか。

答 27年11月の策定を目指し、今後10年間の将来を見据えた教育復興基本計画策定に着手した。保育・幼稚園の運営の在り方、小中学校の適正規模配置についてこの計画で基本的な考えを示し、具体的な方策等を盛り込む考えである。

問 本市の緊急時の通報システムは、利用者自身の操作が必要である。利用者に負担をかけるのではない人感センサーなどの導入と、導入時の

モニター制について、どう考えているか。

答 現在の緊急通報装置に新たに人感センサー機能の付加を調査研究している。本当に前向きな形で検討を進めていく。利用者実際に使っていたら、本市も機器の機能を確認した上で進めていく。

交通網の整備は

問 本市の交通網を震災前の整備で良いとは

答 地域の安全安心な交通環境確保のため、常磐道と国道6号の4車線化、県道原町川俣線のバイパス化など高規格改良整備、県道原町二本松線の未改良区間の整備などを強く要望していく。

質問を終えて

教育、高齢社会、交通網など震災前よりも良い環境を目指す執行部の姿勢にひと安心。

- その他の質問
- 1 学力向上に向けた施策充実の考えは
 - 2 JR常磐線運行時間短縮に向けた考えは



混雑する原町川俣線



但野 謙介 議員

産業復興を 具体的行程表へ

問 イノベーション・コースト構想の実現に向けて、この地域にどのような仕事を作り出すべきなのか。

答 若手が活躍する精密機器製造分野の持っているポテンシャルを引き出すことが重要。ロボット産業のテストフィールドとして、まずは製造を推進し、次いでITの経営なども支援していく。

問 NEDOや産業技術総合研究所の研究あり方について改革が進んでいる。研究成果



民間企業が整備したイノベーションセンター（千葉県柏市）

として強く実用化を進めているところである。南相馬市にしっかりと実証拠点を誘致し、雇用を生み出していくことが必要。しっかりと国と調整しながらプロジェクトを貼り付けていくことについて、見解を伺う。

答 テストフィールドとしては、現場でのデータを収集や解析の能力をもつことも重要であり、その部隊をテクノアカデミーなどと検討を進める。今後、NEDOの取り組みをテーマの中で実証に近

質問を終えて
国・県の復興構想と連動し、産業創造に向け具体的行程表を示すことが求められている。

その他の質問

- ① 市街地の起業支援施設整備は
- ② U・イーターン促進と起業支援は
- ③ 仮設住宅の今後の方針は



志賀 稔宗 議員

小高に 復興インターの実現を

問 地方創生にあたり、周辺自治体との連携が更に効果を向上させると思うが。

答 広域観光や都市農村交流等新しい人の流れをつくるために、近隣自治体と連携しながら効果的な総合戦略の作成に取り組む。

問 イノベーション・コースト構想が地域の産業創造や振興につながるということが重要だが、ロボット研究実証拠点整備により期待できる効果は。

答 地域のものづくり企業は実証拠点が整備されれば国、ロボットメーカーとの連携やロボット部品提供等が期待され、技術のレベルアップと地域産業の発展が期待される。

問 小高区は産業を興して復興を図るしかないと考える。そのため



上空から見た南相馬インターチェンジの様子

には小高復興インターの設置は絶対不可欠。取りくみが弱いのでは。

答 緊急時の避難路、企業誘致の優位性等のため重要であり強く要望してきた。具体的回答はまだだが県は図面まで書いている。更に強く働きかける。

質問を終えて
『ロボット産業でまちの復興』復興インターは必要不可欠。小高にインターの声を更に大きく。

その他の質問

- ① 子供に対する防災意識高揚の対策を
- ② 乳幼児の子供遊び場提供の拡充を
- ③ 南相馬料金所に人員配置が証明書改善を